

令和元年12月11日

智頭町議会議長 大河原 昭 洋 様

民生常任委員長 河 村 仁 志

委員派遣結果報告書

本委員会の調査事件について調査を実施したので、智頭町議会会議規則第77条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 期 日

令和元年10月3日（木）

2. 場 所

八頭郡智頭町大字智頭1918番地 智頭町森林組合事務所 会議室

3. 内 容

智頭町森林組合との意見交換会

4. 目 的

智頭町森林組合の現状と課題・今後の展開等についての意見交換を行い、本町の基幹産業である林業の発展のための今後の委員会活動に資する。

5. 派遣委員

全委員5名

6. 所 感 等

今後の林業に必要と考える上で、ICTスマート林業の取り組み等について意見交換を行った。

林業は、植林から伐採、搬出に至るまで、熟練した職人の世界だと思っていたが、ドローンを活用してレーザー計測を行うことにより、樹冠や地表面の情報を把握できたり、立木本数や材積を分析したりもでき、作業効率面で格段に早く処理できることを知った。

作業効率や生産性の向上、労働安全の確保、雇用形態の安定化を図る上では、スマート林業を取り入れていくことは重要であると感じたが、導入時の初期経費、維持管理費、使いこなすための人材育成等、課題も多くあると思った。

また、森林組合では今後の方向性として、智頭材の需要拡大と流通も重要であると考えている中で、SGEC森林認証、COC管理事業体の認証を受けることで、有利な販売をしていきたいとのことだった。

スマート林業と言われる、IT技術を活用した林業の立ち位置を確立していくためには、人材の育成と、新たに導入される森林環境譲与税の計画的活用が欠かせないと思うことから、林業関係者と行政の密接な協議が求められる。

議会としても、女性を含む担い手の育成につながる取り組みを構築できるよう、引き続き調査研究を進めたい。